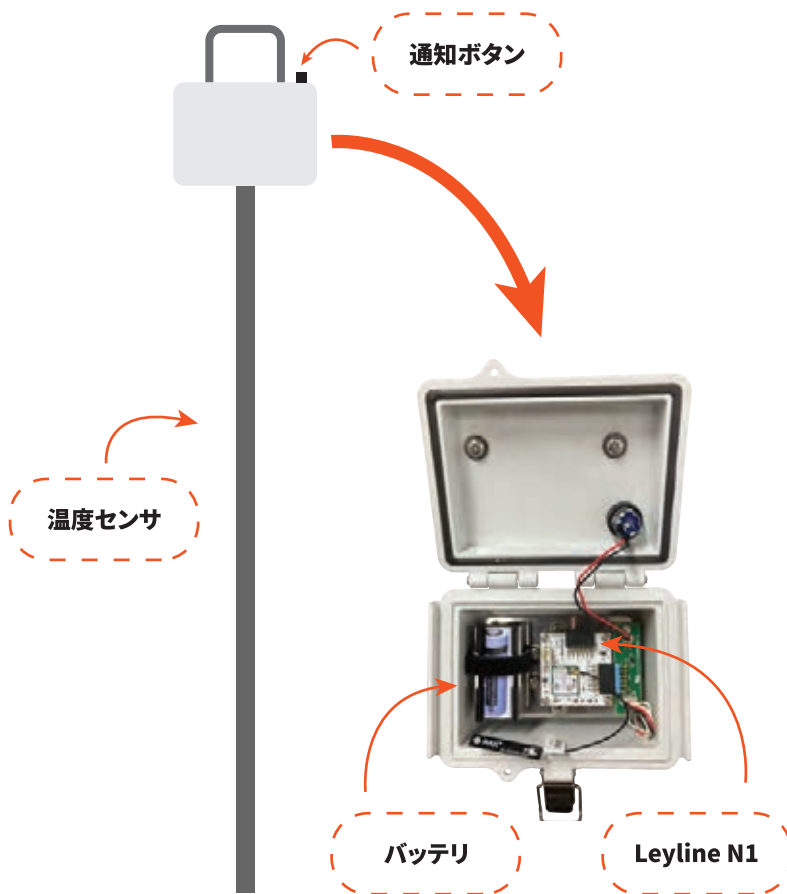


# ロッド型無線温度センサデバイス



## 【デバイス概要】

本装置は、堆肥温度自動監視システムのエンドノードとして設計されました。

ケース部分は IP65 相当の防水・防塵性と耐熱性を備えており、内部には Leyline N1 と付属のバッテリーが収納されています。ケースの蓋にはボタンがあり、堆肥攪拌のタイミング通知と記録に利用されています。

ロッド部分には Leyline N1 に接続された温度センサが格納されています。ロッドは金属製で熱伝導率が高いため、センサを保護しつつ堆肥の正確な温度を測定することができます。

## 【堆肥温度自動監視システム概要】

堆肥の生産現場では作業者が巡回、目視して堆肥の温度を確認し、堆肥を攪拌していました。そこで DX の一環として堆肥温度自動監視システムが導入されることになりました。本システムは Leyline N1 から温度データを受信し、時間推移による温度プロファイルを作成します。クラウド上でプロファイルが確認できることにより、堆肥生産者は堆肥の熟成段階をより正確に把握することができるので、現場の負担の軽減と効率化につながります。